

本館修復工事の進捗（しんちよく）状況について

1908年（明治41年）に落成し、築114年を迎えた遺愛本館の修復工事は順調に進んでおり、この3月には基礎工事が修了し、壁や正面玄関、建築当時の講堂・裏から上がる螺旋（らせん）階段・バルコニー入口などの復元工事に入っています。

4月12日には、正面玄関の庇（ひさし）部分であるバルコニーを支える4本の円柱が設置されました。バルコニー部分は工事前は、かなり歪んでおり、安心してバルコニーに出ることができない状態でしたが、これで大丈夫です。すべての完成は2024年3月の予定です。2024年は遺愛学院創基150周年になります。今のところ、記念式典および大同窓会は9月末に予定しています。



設置された円柱



これから設置する円柱



玄関をはさんで4本の円柱が立ちました。



2011年ころの正面玄関



1908年落成当時の正面玄関

2022年4月25日